

いざというときに備えて

1,139人が参加 防災訓練



▲火事は初期の消火が大事！ 消火器に挑戦(二又)

町内35ヶ所の避難所で、住民を安全に避難させ、防災パンフレットによる非常時の持出し品の説明や、消火器を使った初期消火訓練が行われ、一般の方826人、消防団員313名の参加がありました。

いざというときに備え、町内全域で、防災訓練が行われました。午前6時30分、防災無線の地震情報と緊急避難放送を皮切りに消防団はサイレンの吹鳴の後広報活動と合わせて、海岸の津波避難誘導と、危険箇所巡回を行いました。

豪雨の後の大規模地震を想定した防災訓練が、9月3日(日)早朝に行われました。町内各所で、災害対策本部の指令に従って、情報伝達、避難誘導、火災初期消火の訓練を実施しました。

消火器の使い方

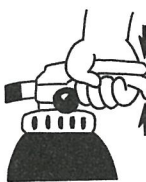
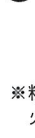
① 安全ピンを引きぬく



② ホースをはずして火もとに向ける



③ レバーを強くぎって噴射する



※粉末消火器・強化液消火器の場合



3階から脱出袋での脱出訓練(9/4 光中防災訓練)

日ごろの備えが大切
今年の1月17日には、阪神大震災が発生し、広い範囲で民家やビルが倒壊して、火災が発生するなど大災害となりました。
地震、台風、大雨、土砂

崩れ。日本は、自然災害が発生しやすい、また地震多発国です。災害はいつ起きるかわかりません。日ごろから家族で防災について話し合い、連絡方法、避難場所、非常持出し品などを確認しておきましょう。ふだんからの心がけが、いざという時大きな力となって現れます。

ハローつうしん

祝賀の会で楽しい1日



大山阿夫利神社参拝
芝崎中部では、代表の方々が8月19日に、神奈川県伊勢原市にある大山阿夫利神社に参拝し、お札を各家に配りました。参拝者は毎年くじ引きで数人決めます。この神社は農家を守る雨降神社として、870年前から続いています。
通信員 野村光子(芝崎)



秋はロボットにおまかせ

実りの秋を迎えて忙しい木戸ライスセンターに、最新型ロボットが登場。ベルトコンベアから流れてくる30キロの重い米袋を、次々と積み上げます。組合員のみなさんも能率アップでき



たと満足気でした。

会」が開かれました。町から向後町長さんほかが招かれて、町長さんは「長寿をお祝します。いつまでもお元気でいて下さい」「写真」とお祝いの言葉を述べられました。式が終わってから家族の方、ボランティア、光中の生徒さんたちとご馳走をいただきながら楽しい一日を過ごしました。
通信員 山辺光男(木戸)